

令和6年度 中津市社会福祉協議会 会費の ご協力ありがとうございました

今年も自治委員の皆さまを通じて社協会費のご協力をお願いしたところ、多くの方々にご賛同をいただき貴重な会費をいただきました。

皆さまからお寄せいただいた会費は、山国地区の地域福祉の推進のため、各種福祉事業に大切に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

令和6年度 山国地区実績 352,500円

★見守りネットワーク支援

・見守り活動の助成



★サロン活動支援

・サロン活動への助成



★福祉事業や活動支援

・福祉ボランティア講座



★広報啓発に係る経費

・「かかし」発行（年6回）

〈会費はこのような事業に使わせていただきます〉

～心配ごと相談～

日時：9月11日（水）9時～12時

10月9日（水） //

場所：山国社会福祉センター

山国地区の民生委員さんが、いろいろな心配事の相談に応じてくれます。お気軽にご相談ください。

～山国身近な相談日～

日時：9月19日（木）13時～16時

10月17日（木） //

場所：山国社会福祉センター

生活支援コーディネーターが介護予防や生活支援について困りごとや不安などのお話を伺います。お気軽にお立ち寄りください。

TEL 62-2898

「ともだちひろば」のお知らせ

日にち：9月4日（水）運動遊び
10月2日（水）ハロウィン制作

時間：10時半～11時半

場所：山国社会福祉センター

三光児童館のスタッフが山国に出向き、未就学児と保護者、妊産婦の方を対象としたイベントや交流を行います。お気軽にお越しください。

フードパントリー in やまくに

ご寄付でいただいた食品を必要としている世帯にお渡しします。日程は下記の通りです。

必要な方は電話かネットで、事前申し込みをお願いします。（先着10世帯とさせていただきます）

日時：10/25（金）10時～17時

受取場所：山国社会福祉センター

（山国町守実89-1）

対象：山国町内在住で、

①子育て世帯

②物価高騰等の影響で食糧支援を必要としている世帯

申込方法：電話62-2898か

右記QRコードにて

担当：いけだ



😊 フードバンクnico・フードドライブ

日にち：9月25日（水）

10月25日（金）

場所：山国社会福祉センター



毎月25日に食料品（2か月以上賞味期限があり、常温保存が可能なもの）の寄付を受付けています。寄付されたものは必要な方にお譲りさせていただきます。

ちいき福祉だより

かかし

発行元：中津市社会福祉協議会

地域福祉課 地域福祉推進係山国

（山国社会福祉センター内）

〒871-0712

中津市山国町守実89番地1

TEL：62-2898 FAX：62-2905

山国町民生委員児童委員協議会

～視察研修会受け入れをしました！～

7月2日、九重町南山田地区民生委員児童委員協議会12名の皆さんが山国町民児協の視察に来られ山国社会福祉センターで交流会を行いました。

はじめに、南山田地区梅木民児協会長より、「現在12名の委員で訪問活動や災害時の対応、小学校のあいさつ運動など行っていますが、今年は、町外地区の民児協の活動を知り、自分たちの活動に活かしたいと思い視察研修を計画しました。今日はよろしくお願ひします。」とあいさつがありました。

続いて、山国町民児協の活動の取り組みのお話を宝珠山会長が行い、昨年の災害の時に民生委員として関わった事例などを野中委員、月木委員、轟委員、坂本委員が行ないました。

後半の交流・意見交換では、お互いの活動の中での課題や相談窓口の対応、また、窓口の周知をどのようにして行っているかなどの質問があり、方言を交えて和やかに行われました。

予定時間を40分も過ぎるほどの交流となりましたが、宝珠山会長は「今回このような交流で他地区の活動情報を交換し合いながら自分たちの活動を省みることができました。私たちも今後の活動への刺激をいただきました」とおっしゃっていました。



南山田地区の皆さん



昨年7月豪雨水害時の支援について発表（左から：轟さん、野中さん）



宝珠山会長のあいさつ

山国地区いきいきサロンネットワーク会議 ～「予防救急」を学びました～

7月23日、中津消防本部耶馬溪分署の藤原さんをお招きし、「予防救急」について講話をいただきました。昨年の中津市全体の救急車の出動は4,085件に上るそうです。

事故の1位は転倒で、危険な場所は以外にも家の中にも多くあるそうです。救急車を呼ばなくてはならないようなケガや病気を未然に防ぐために、日頃から気をつけるポイントを知り、意識して行動をすることを「予防救急」と呼んでいます。藤原さんは、「自分自身や、仲間、家族の皆さんと一緒に予防救急を実践していただき、事故防止に努めましょう。」と呼びかけました。後半は、各サロンの活動報告と10月27日のふるさとまつりの練習をしました。

中津消防署では、今後、市内の各サロン等に出向き、窒息、転倒防止など「予防救急」の話をする計画をしています。講話をご希望の方は、社協山国（62-2898）または、耶馬溪分署（54-2100）までご連絡ください。



「ズンドコ節」練習風景



中津消防本部
耶馬溪分署：藤原さん
☎54-2100

サロン情報

山国地区では、現在16のサロンが活動をしています。サロンに興味がある方、参加してみたい方は社協（62-2898）までお問い合わせ下さい。

いきいきサロン大杉の会

いきいきサロン大杉の会は、年に4回サロンを開催しています。主な活動は、庄屋村地区公民館周辺の美化活動として、公民館周辺の草刈りと清掃活動を行っています。

6月20日に行われたサロンでは、8名のメンバーが小雨の中、草刈り機等を使用して清掃活動が行われました。手際よく作業が進められ、みるみるうちに公民館周辺がきれいになりました。

作業終了後は、全員でお茶をのみながらおしゃべりを楽しみました。



たいしょう陣

7月20日、たいしょう陣サロンが恒例のミニ七夕づくりをしました。にぎやかな飾りを作り、願い事を書いて笹にくくり付けていきました。途中、「鶴の折り方がわからんことになった」とみんなで大い話しながらい出し、完成する一幕もありました。参加された方は、「このミニ七夕は毎年、玄関に飾って、来る人達にも見てもらいます。季節感が出てとても喜ばれます。」とおっしゃっていました。



あなたの地区でも見守りネットワークを広げてみませんか？

中津市社会福祉協議会では、住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らし続けられるように、地域住民による助けあい活動や支えあい活動を推進しています。地域住民が行政や民間事業所及び福祉関係者と協力・連携しながら、見守りが必要な方に対し地域で見守ることのできる仕組みづくりを進めています。

見守りネットワークとは？

住民主体の見守り活動を目的とする小地域たすけあい活動です。自治区（小地域）を単位として、住民同士の見守り・声かけ活動や交流活動に取り組んでいます。



見守り活動の内容

- ① 日常的な声かけ
 - ・朝カーテンがあいている？
 - ・夜間電気が点いている？
 - ・新聞や郵便物がたまっていない？
- ② 定期的な声かけ・訪問活動
 - ・安否確認
 - ・健康状態の把握
 - ・情報提供など
- ③ 地区推進会議
 - ・要援護者の実態把握
 - ・見守り活動の情報交換
- ④ 交流会・居場所づくりの取り組み

なぜ今、見守りネットワークが必要？

少子高齢化の急速な進行と近所付き合いの希薄化、プライバシー意識などから、高齢者の孤立が大きな社会問題となっています。見守り活動によって、安否確認や地域の福祉課題の早期発見につながり、地域のひとりでも多くの方が見守り意識を持つことで、地域から孤立することを防止できます。

ネットワークの紹介

見守りネットワーク「HARUDA」

7月6日、令和6年度総会と推進会議が春田改善センターで行われました。令和5年度の事業・収支報告の後、今年度の事業計画について話し合わせ、訪問活動の期日や手土産などの内容、大きな柱として、10月に実際に第二次避難場所までの水害避難誘導を車で移動する訓練を実施する計画が立てられました。



見守りネットワークFUJINOKI

藤野木地区の見守りネットワークは、日常적인見守りを中心にふれあいサロン参加への声かけなどつながりを大切に活動しています。6月24日には恒例となっている、サロンと合同のバスツアーに27名が参加し、築上町の「旧藏内邸」見学と「道の駅おおう桜街道」に行きました。道の駅おおうでは、1億円のトイレの豪華さに感動していました。みんなとのお出掛けに話も弾み楽しい交流会となりました。



社協では見守りネットワークについての詳しい説明会を行っています。ご興味のある地区はお気軽にご相談下さい。問い合わせ先 社協山国 城土（☎62-2898）

はじめての職場体験！～中学生の職場体験学習～

7月11、12日の2日間、デイサービスセンター山国、生活支援ハウス山国で、山国中学校2年生2名が職場体験学習に来所しました。職場体験は中学校が毎年実施しているもので、生徒が地域の事業所を対象に将来の職業・仕事について体験を通して学習を行っています。

初日は生活支援ハウス居住者との体操、デイサービスセンターご利用者とレクリエーションを行い、2日目はデイサービスセンターでの運動機能訓練やご利用者との交流など、一日の流れを体験しました。

感想を伺うとそれぞれ「ご利用者様の変化に気付くことが大切。」「ご利用者様への言葉使いや態度といった立ち居振る舞いが大切。」といった私達も普段仕事を行なう上で大切にしている点に気付いていました。またご利用者様からの「ありがとうございます。」という言葉にうれしさ、温かさを感じている様子でした。今後もこの体験を通して、生徒さんが職場を知る一助になればと思います。

問い合わせ先 デイサービスセンター山国 62-3093（小野）



車いすの使い方を学ぶ



みなさんと一緒に体操